

Dr. 中路の健やか通信 (其の51)



健やか協力隊長 中路重之



第51回 肥満 (その3)

◆青森県民と肥満：全国トップクラス

青森県民の肥満度はどうでしょうか？

2つの表をみると明らかなように青森県は全国トップクラスの肥満県です。

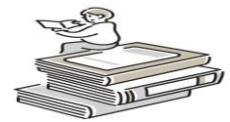


表1 青森県児童・生徒の肥満傾向児の割合ランキング順位 (令和3年度)

| 区分 | 年齢 | 本県順位 | |
|----|------|------|---|
| 男 | 幼稚園 | 5歳 | 6 |
| | 小学校 | 11歳 | 9 |
| | 中学校 | 12歳 | 1 |
| | | 14歳 | 3 |
| | 高等学校 | 15歳 | 4 |
| | | 17歳 | 2 |
| 女 | 幼稚園 | 5歳 | 3 |
| | 小学校 | 11歳 | 7 |
| | 中学校 | 12歳 | 3 |
| | | 14歳 | 6 |
| | 高等学校 | 15歳 | 1 |
| | | 17歳 | 6 |

(文部科学省令和3年度学校保健統計調査による)
性別、年齢別、身長別標準体重から肥満度を算出
→肥満度が20パーセント以上を肥満傾向

まず、学校の児童生徒。毎年地元紙で「本県の〇年生、今年も身長は全国一」などの見出しが躍ります。小中学校で毎年測定する身長と体重です。本県児童生徒は身長も高いし、体重も重い。なかでも体重はほとんどトップレベルであり、その結果、肥満傾向児の割合もトップレベルにあります(表1)。小中学校では体力・運動能力測定も同時に行います。

それをみると青森県児童生徒は、筋力は全国の中位で、持久走は最下位レベルです。やはりその基盤には「肥満」があるのでしょうか。



児童生徒が肥満傾向にあるのであれば、彼らが大人になっても「肥満」を引きずるのは間違いなと考えられます。実際、あらゆるデータを見ても青森県が全国トップレベルの

肥満県であることはまちがいありません(表2)。

表2 都道府県別の肥満者(BMI 25以上)の割合
(都道府県ランキング)

| | 男性 | | 女性 | |
|----|----|-------|----|------|
| 1. | 青森 | 45.7% | 青森 | 26.1 |
| 2. | 佐賀 | 42.9 | 岩手 | 20.0 |
| 2. | 高知 | 42.9 | 埼玉 | 20.0 |
| 4. | 徳島 | 41.4 | 長崎 | 20.0 |

BMI=体重(kg)/身長(m)²
(平成19年ライザップの調査より)

以前テレビの娯楽番組でインタビューを受けたことがあります。「なぜ青森県民は全国一の肥満なのか」という質問でした。「青森県は肥満に対して寛大である。体のボリュームがあれば“からだが良い”とみなされ、相撲を勧めたりする。

この寛大さゆえに肥満が多いのか。肥満者が多いから寛大なのか。どちらが卵でどちらがニワトリかは分からないが・・・」と答えました。ただ悔しかったのは、「おもしろくない」



(爆笑問題の太田光) という理由でカットされたことです。